

9. 推進体制



1 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、国や県、観光協会をはじめとする関係機関、地域や町内の事業所等との連携を図るとともに、庁内の関係各課の連携を強化し、横断的かつ重層的な施策展開を図っていきます。観光施策の進行にあたっては行政だけではなく、地域住民や地域における様々な関係機関の参画が必要となることから、様々な主体が参画できるような環境を整備します。

2 進行管理

計画の点検・評価にあたっては、庁内関係各課で構成される会議や委員会等において施策の進捗状況を検証し、改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立し、効率的・効果的に計画を推進していきます。



3 災害時・緊急時の対応

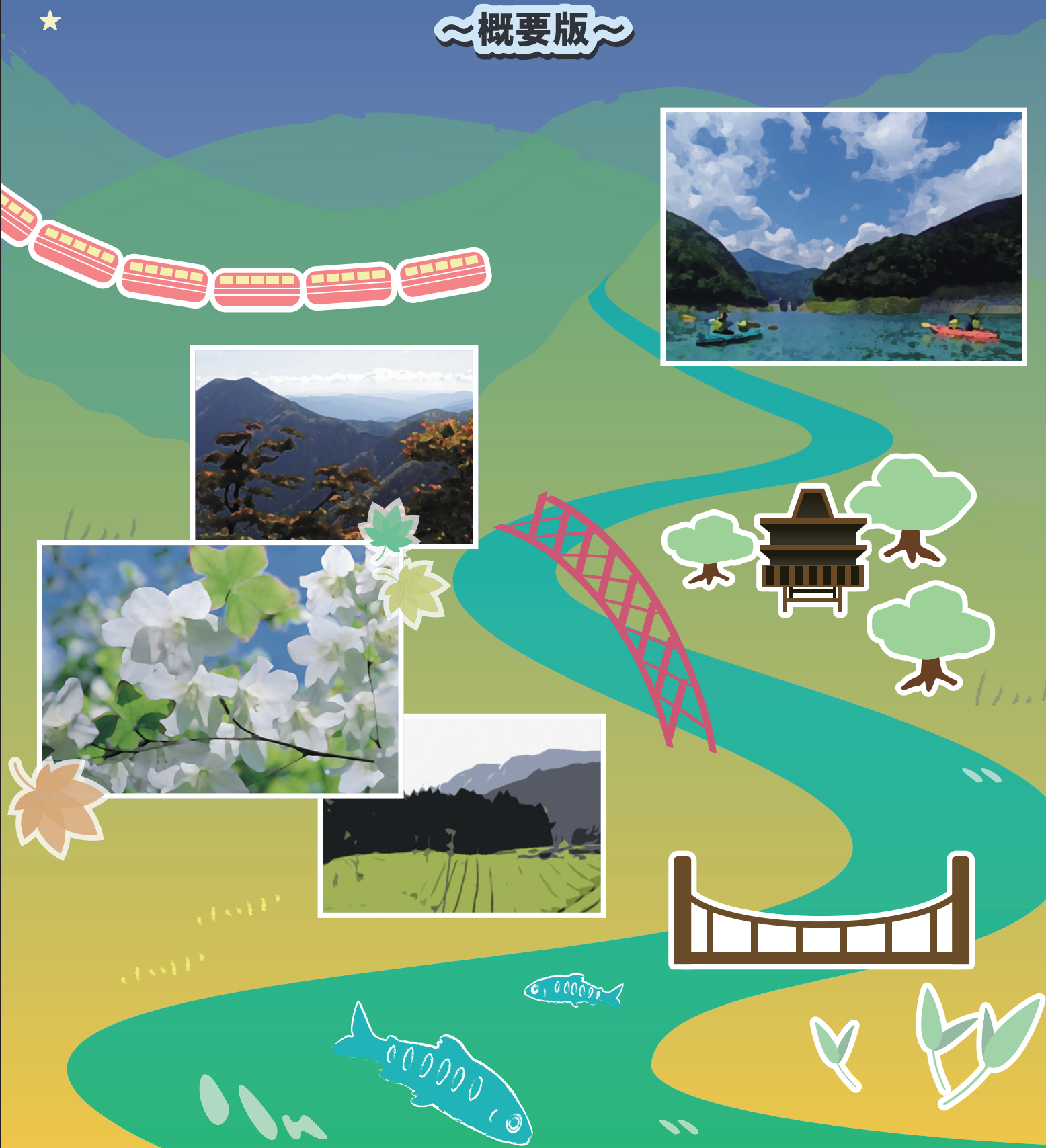
災害や感染症の流行等、災害時や緊急時には、町が出す方針に従って計画の推進を図ります。

第2期 川根本町観光戦略プラン 令和5年7月

- 発行 川根本町 観光交流課
- 住所 〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭1183-1
- TEL 0547-58-7077

第2期川根本町観光戦略プラン

～概要版～



1. 将来像



当町は、雄大な自然や鉄道、温泉、茶業・林業などの様々な地域資源を有し、それらは地域経済の活性化を担っています。近年では、SNSやテレビ放送の影響等により、多くの観光客が大自然を満喫するため当町に訪れます。

しかし、今後、観光産業の維持・発展を図るためには、人口減少や少子高齢化による担い手不足やコミュニティの消滅、多くの観光客の方におもてなしを提供する環境づくりなど抱える課題は様々であり、町民の生活と観光産業の共存のため、持続可能な観光づくりが必要になります。観光振興を通して、観光産業の担い手となる住民にとって暮らしやすいふるさとであり、また新たに訪れる人にとっても自然を感じ、何度でも気軽に訪れることのできる第2のふるさとを目指し、持続的に成長できるまちづくりを行います。

については、当町が目指す観光の将来像を以下に掲げます。

雄大な自然が癒す ふるさとのまち 川根本町 ～新緑・紅葉・大井川、お茶と温泉・SLのまち～

2. 計画の位置づけ



本計画は、「第2次川根本町総合計画」の観光分野の個別計画として位置づけられます。

また、国や静岡県観光に関する計画及び町の観光地エリア景観計画をはじめとする関連計画との整合性を図り、当町の観光施策の具体的な行動指針とします。当町の行政のみでなく、事業所や町民、大井川流域自治体等と連携し、観光戦略プランを共有・実施します。

第2次川根本町総合計画 水と森の番人が創る癒しの里 川根本町 ～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～

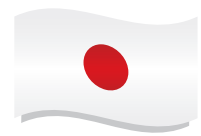
施策の大綱

お茶と温泉、活気ある産業に満ちたふるさと

観光分野：個別計画

関連計画

第2期 川根本町観光戦略プラン



国

観光立国推進基本法
観光立国推進基本計画



静岡県

静岡県観光基本計画

整合・連携

産業関連

農林業関連

土地利用関連

環境関連

保健医療関連

教育関連

福祉関連

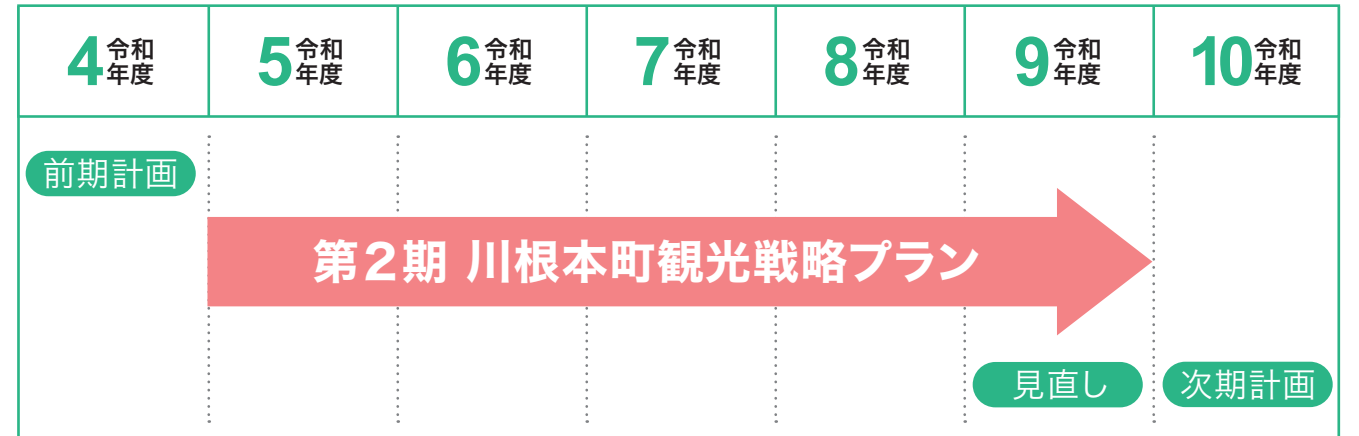
その他関連

3. 計画期間



本計画は令和5年度を初年度とし、令和9年度までの5年間の計画とします。

また、社会・経済・自然環境の変化等の観光を取り巻く状況の変化により、計画の見直しが必要になった場合は、「川根本町総合計画」をはじめとする町関連計画と整合性を取りながら、見直すこととします。



4. 目標値



観光振興による地域経済活性化を目指した施策により、計画最終年度である令和9年における目標値は以下のとおりです。

目標 1

観光客数の増加

現状値

(令和3年度)

29.3

万人/年

目標値

(令和9年度)

53.5

万人/年

目標達成
のため
行うこと

- ▶ 従来から高いリピート率を有する観光資源（温泉、川根茶、つり橋、紅葉等）を活用した取組み強化
- ▶ デジタルコンテンツを盛り込んだ若い世代のニーズに即したサービスの提供
- ▶ 大井川鐵道と連携した観光客アクセス方法の確保



目標 2

宿泊客数の増加



目標達成のために 行うこと

- ▶ 旅行会社・周辺自治体と協力し目的別に合わせた周遊・体験コースの開発
- ▶ コースは、観光地巡り周遊コース、温泉巡りコース、アウトドア好きの体験コース、大井川周辺周遊コースなど複数展開

5. 計画の基本方針

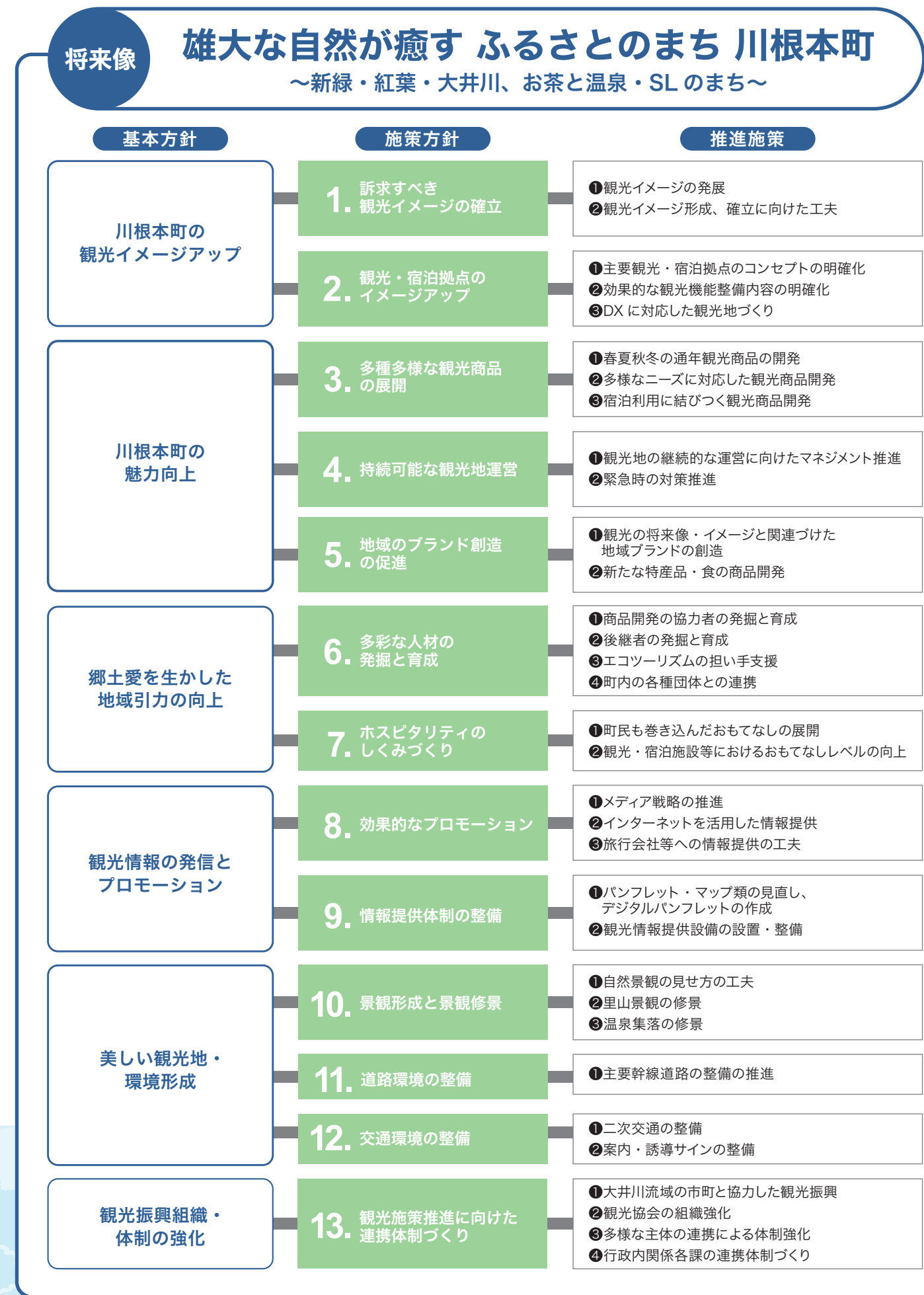


観光振興を図るためには、観光客数・旅行消費額の増加、滞在時間の延伸を目指し、当町独自の魅力を高めることが重要です。観光の将来像の実現に向け、本計画の基本方針を以下に示します。

また、今期計画においては、町全体の共通課題を解決するための施策展開と当町の「観光地エリア景観計画」の地域区分に沿ってそれぞれの地域特性に合わせた施策の展開を行います。



6. 施策の体系図



7. 重点的に取り組む施策



1 訴求すべき観光イメージの確立

当町には、さまざまな観光資源が存在します。中でも夢のつり橋やSLはメディアやSNSの影響で知名度がありますが、その他観光地の知名度は低い状況にあり、訪問者数や利用者数は観光地によって大きく異なります。認知度を拡大させ、各観光地の入込客数を増加させるためには、全国その他観光地とは一線を画したコンセプトのもと、すべての観光地を有効活用した魅力の醸成が必要となります。

そのため、観光地としてより多くの人に知られる町を目指し、誰にでも認知されるイメージの確立を行います。

2 観光・宿泊拠点のイメージアップ

寸又峡や千頭駅周辺、接岨峡は温泉やSLを目的に多くの観光客が訪れる町内随一の観光名所となっています。今後、観光地としてさらなる発展を目指し、アクセス改善のための交通手段や、DXに対応した観光地づくりなど各種インフラの整備を中心とした訪れやすく、快適な環境整備が必要です。

そのため、各エリアにおける特性を考慮した上で、整備の方向性や必要な機能を明確化し、環境整備を推進します。

3 多種多様な観光商品やイベントの展開

当町は、季節によって入込客数が異なっており、長期休暇や紅葉の時期に観光客数が著しく増え、それ以外の季節は閑散としています。年間を通じた安定した集客や、混雑の平均化を目指し、閑散期における魅力的なイベントの創出や通年で集客が可能な観光資源の発掘が必要です。

また近年では、ライフスタイルや価値観が多様化しており、観光客のニーズや旅行のありかたは様々です。

そのため、通年で集客を図れる観光資源やイベントの展開、多様化するニーズに則した観光商品の開発・推進が重要となります。

また、イベントの開催を通じて、地域活性化を点から線、線から面へと展開することが必要です。

8. 観光地エリアの景観計画



当町では、観光地における景観形成を推進するため、重点的に景観形成を図るエリアを「寸又峡温泉地区」、「千頭周辺地区」、「久野脇・塩郷地区」、「接岨地区」、「尾呂久保地区」の5つに定め、観光地エリア景観計画を策定しています。

本計画においては、各エリアの特性を生かした目指すべき景観像を描き、景観像の実現のために必要な整備や機能を明らかにし、景観整備を行います。

壮大な山々、豊かな水、郷愁を感じる建造物、鮮やかな茶畑等の魅力を生かした統一感のある良好な景観を保ち、自然や町並みの保全を図ります。

景観形成が、観光地としてさらなる魅力向上につながるよう、環境整備を推進します。



寸又峡温泉地区

目指す景観像

本州で唯一の原生自然環境保全地域を源流に持ち、大自然を誰もが気軽に満喫できる日本一清楚な温泉保養地 寸又峡温泉

目標 1 自然環境の魅力を誰もが満喫できる景観づくり

方針

- ①プロムナードコースの魅力を満喫できる環境整備
- ②誰もが安全に自然景観を楽しめる環境整備

目標 2 アクセス道路でも絶景を満喫できる景観づくり

方針

- ①アクセス道路からの眺望を楽しめる環境整備
- ②移動が快適で、気軽に何度も訪れたいくなる環境整備

目標 3 清楚な温泉街を誰もが満喫できる景観づくり

方針

- ①誰もが清楚な温泉街を満喫できる空間を整備
- ②温泉街の景観や自然景観を満喫できる環境整備

千頭周辺地区

目指す景観像

大井川とSLと自然が楽しめる千頭地区周辺

目標 1 懐かしさとゆったりとした時間を楽しめる景観づくり

方針

- ①くつろぎたくなる場づくり
- ②SLの終着駅を活かした場づくり

目標 2 大井川や走るSLを楽しめる景観づくり

方針

- ①散歩したくなる場づくり
- ②地域住民と来訪者の調和が図られた場づくり

目標 3 自然や四季を楽しめる景観づくり

方針

- ①季節を感じられる場づくり
- ②のんびり過ごすことができる場づくり

久野脇・塩郷地区

目指す景観像

茶園と大井川の特徴を楽しめる久野脇・塩郷地区

目標 1 大井川の河流の雄大さを体感できる景観づくり

方針

- ①眺望を満喫できる場づくり
- ②大井川の河流の雄大さを感じられる場づくり

目標 2 美しい茶園と山間地域の調和を体感できる景観づくり

方針

- ①美しい茶園景観を楽しむことができる場づくり
- ②地域での体験を楽しむことができる場づくり

目標 3 大井川と吊り橋の調和を体感できる景観づくり

方針

- ①大井川を感じることができる場づくり
- ②吊り橋を楽しめる場づくり

接岨地区

目指す景観像

自然と人工物が調和する水辺の景観を体感できる接岨地区

目標 1 自然と人工物の調和を五感で体感できる景観

方針

- ①自然と人工物の織りなす唯一無二の景観を楽しむことができる環境の整備
- ②パドルスポーツや散歩などのアクティビティを通じて自然を体感できる環境の整備

目標 2 奥大井の自然に抱かれた温泉地を満喫できる景観

方針

- ①優れた泉質の温泉だけでなく、併せて周囲の景観も楽しめる環境の整備

尾呂久保地区

目指す景観像

マウンテンスポーツのベース 山の暮らしを『体験』できる尾呂久保地区

目標 1 ウッドハウスおろくぼを核とした山の暮らしを『体験』できる景観

方針

- ①尾呂久保集落に日本の原風景を保存、再現し、暮らしを『体験』できる景観づくり
- ②ウッドハウスを中心にアウトドアを感じる景観、施設整備

目標 2 登山、ハイキング等のマウンテンアクティビティが楽しめる景観

方針

- ①手を入れるのは最小限に、尾根伝いの眺望を最大限に魅せる景観整備